

津波が与える被害

① 人命への被害

津波は波の高さが1メートルを超えると確実に人命に影響を及ぼします。そして波の高さが2メートルを超えると確実に死者が発生し、急増します。

② 木造家屋への被害

沿岸地区の木造家屋は波の高さが1メートルを超えると部分的に破壊され、波の高さが2メートルを超えると全壊となると考えられています。

③ 鉄筋コンクリートの建物への被害

一般住宅の鉄筋コンクリートの建物であれば波の高さが5メートル、丈夫な鉄筋コンクリートのビル等であれば波の高さが10メートル程度であれば持ちこたえられると考えられています。

※ ただし、漂流物での破損は考慮されていません。

④ 沿岸集落への被害

波の高さが2メートルの津波から沿岸集落では被害が急増し、8メートルでは沿岸集落は壊滅的な被害を受けると考えられています。

⑤ 護岸施設への被害

波の高さが10メートル近くになるとテトラポットが移動し、護岸施設の破損がおきます。

⑥ 海水浴への被害

波の高さが20～30センチだとしても波長が長いので沖に流される可能性が高いです。また、50センチくらいから成人でも流れを無視できなくなり、場合によっては流れが局地的に大きくなる為、大変危険です。津波注意報が発表されたら速やかに浜に上がり避難して下さい。